

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52431	児童文化 Literature for Children	入口 愛・江 良 友子			1	選択	2年後期
科目の概要							
児童文化財をととして子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識と技術を修得し、実践力を養うことを目的とする。絵本の種類、文章や絵、描写手法、構成など技法を理解するとともに、子どもの発達年齢に適した絵本および教材を選ぶ力を身に付け理論と技術を修得することで実践力を養う。これらの内容はディプロマ・ポリシー③④に相当する。これらを身に付けるために、おこうなう。							
学修内容			到達目標				
① 児童文化財について概観する。 ② さまざまな絵本の特性を理解する。 ③ 子どもの発達に適した教材を考え、制作することができる。			① 子どもの発達段階を理解し児童文化財について説明することができる。(DP③) ② 絵本の特性を理解し子どもに合った絵本を選択できる。(DP③) ③ 子どもの言葉の発達段階をふまえ、教材を制作し、実践的な活動を考えることができる。(DP③④)				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	児童文化財の良さを伝えるために、授業の中での発信や演習など積極的にに関わり、技術修得のために自ら練習をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	多くの絵本を読み考察することで、思い込みや憶測で判断するのではなく、学んだ知識や情報を活かし、客観的に発達年齢にあった絵本を選ぶことができる。					
	計画力	課題に取り組む際には、様々な情報源の中から必要な情報を活用し期限内に提出できる。					
	創造力	教材を作りあげる力、人前で発表することができる力、感動を伝えることができる力など身に付けることができる。					
チームで働く力	発信力	聞き手に伝わる声の大きさ、話す速さ、内容が整理されている。					
	傾聴力	相手の意見を共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合はフォローレポート課題を行う。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：「認定絵本土養成講座」中央法規出版 1,800円 参考文献：授業の中で適宜紹介する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：保育内容（言葉）、児童サービス論 資格との関連：幼稚園教諭、保育士、認定絵本土、司書							
学修上の助言			受講生とのルール				
・言葉に対する感覚を豊かにするよう、普段の生活から言葉を意識すること。 ・日頃より絵本や童話、紙芝居などの児童文化財に触れるようにすること。			・私語や勝手な言動をする学生は、授業を受ける権利はないとする。 ・レポート・教材制作・授業態度等によって評価する。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	50	①	✓			認定絵本土養成講座に関する内容をリアクションペーパーにまとめたものを評価する。いずれも各回の目的を理解しているかどうかという観点から評価をする（各5点）。
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓			手袋シアター（40点）を評価する。手袋シアターは子どもの言葉を豊かにするかという観点から評価をする。
				②	✓			
				③				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			<主体性・実行力> ・児童文化財の良さを伝えるために、授業の中での発言や演習など積極的に関わることができ、技術修得のために自ら練習をすることができる。 ・失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むことができる。 <課題発見力・計画力・創造力> ・多くの児童文化財に触れ、学んだ知識や情報を活かし客観的に発達年齢にあった児童文化財を選ぶことができる。 <発信力・傾聴力・規律性> ・聞き手にとってわかりやすい発表(声の大きさ・話す速さ・内容が整理されている)ができる。 ・相手の話す意見に共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レベルS（秀）は、学修内容のすべてにおいて十分な理解と主体的に課題を発見、解決へと取り組む姿勢がみられ、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価において、非常に優れた評価を得ることを基準とする。 レベルA（優）は、学修内容すべてにおいて十分な理解ができており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が優れた評価であることが基準となる。	レベルB（良）は、学修内容が理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準以上を満たしており、かつ到達レベルA（優）までの評価が基準となる。 レベルC（可）は、学修内容がおおむね理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準を満たしている評価であることが基準となる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 「児童文化財」について学習する。児童文化の歴史や保育における児童文化の意義について学ぶ。	講義 グループワーク	授業内容・評価等についておおむね理解することができる。 児童文化財の活用方法についておおむね理解することができる。	(予習) シラバスを確認しておく。 (復習) 児童文化財の意義についてまとめる。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	【絵本各論④】 情報メディアとしての絵本の特性を理解する。絵本と著作権の関係について学ぶ。電子書籍と子どもの脳との関連について学ぶ。	講義 グループワーク	情報メディアとしての絵本の特性についておおむね理解することができる。 絵本と著作権との関係についておおむね理解することができる。 電子書籍と子どもの脳活動についておおむね理解することができる。	(予習) 絵本の著作権について調べておく。 (復習) 情報メディアとしての絵本についてまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
3	【さまざまなジャンルの絵本①(物語の絵本)】 物語を内容とした絵本の特性について学ぶ。 絵本における絵と言葉で語る技法を学ぶ。	講義 グループワーク 図書館を利用して、物語絵本を閲覧する。	物語を内容とした絵本の特性についておおむね理解することができる。 絵本における絵と言葉で語る技法についておおむね理解することができる。	(予習) 物語絵本を選び、特性について考える。 (復習) 物語絵本についてまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
4	【さまざまなジャンルの絵本②(昔話・童話を基にした絵本)】 昔話、童話を題材とした絵本の特性について学ぶ。 昔話、童話を題材にした絵本における再話や絵本の在り方について考える。	講義 グループワーク	昔話、童話を題材にした絵本の特性について、おおむね理解することができる。 昔話、童話を題材にした絵本における再話や絵本の質の在り方を多少なりとも考えることができる。	(予習) 昔話や童話を題材とした絵本を選んでおく。 (復習) 同じ題材で2冊絵本を探し、比較検討後にまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
5	【さまざまなジャンルの絵本③】自然科学・社会科学に関する絵本の特性について学ぶ。 科学絵本等の活用方法について学ぶ。	講義 グループワーク 図書館を利用して、自然科学・社会科学に関する絵本を閲覧する。	科学絵本等の特性について、おおむね理解することができる。 科学絵本等の活用方法について、おおむね理解することができる。	(予習) 科学絵本等を選び、特徴についてまとめる。 (復習) 保育に活用できる科学絵本を選び、活用方法を考えまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
6	【子どもの心をとらえるもの】 子どもが興味や関心を抱く児童文化財の特徴を知る。 絵本以外の子ども心をとらえる様々なメディアについて知り、子どもへの影響についても考える。	オンデマンド	子どもが興味関心を抱くものについて、おおむね理解することができる。 子ども心をとらえる様々な表現方法についておおむね理解することができる。	(予習) さまざまな絵本表現について確認しておく。 (復習) さまざまな絵本表現について、適切な活用方法をまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
7	【絵本を紹介する技術②】 絵本の内容、特質を客観的に捉えることを学ぶ。 書評・紹介文の書き方について学ぶ。	講義 グループワーク	絵本の内容、特質について、比較的客観的に捉えることができる。 書評・紹介文の書き方について、おおむね理解することができる。	(予習) 好きな絵本を紹介する文を書いておく。 (復習) 絵本を1冊選び、書評もしくは紹介文を書く。	90	主体性 規律性
8	【絵本の世界を広げる技術①(絵本を探す技術)】 絵本を探す目的を理解し、様々な絵本の情報源について学ぶ。 図書館のレファレンスサービスについて事例を通して学び、実践する。	講義 質疑応答 グループディスカッション PC・タブレットでOPAC検索を行うことを含む。	絵本を探す多様な手段等について理解することができる。 絵本検索にかかる各手段の活用方法を身に付けることができる。	(復習) 公共図書館のOPAC検索を活用し絵本を見つけレポートにまとめる。	90	実行力 創造力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	【絵本を紹介する技術 ①】ビブリオバトルの 目的及び方法について 学ぶ。本を魅力的に 伝える基礎的技術を修 得するためにグループ でビブリオバトルを行 う。	講義 質疑応答 グループワーク	ビブリオバトルの目的 を理解して本の選書が できる。ビブリオバト ルを実践して本の魅力 を伝えることができ る。	(予習) ビブリオバト ルのお題は「私が好き な絵本」です。当日使 用する絵本を選んで持 参すること。 (復習) コメント用紙 を完成させる。	90	主体性 傾聴力 規律性
10	【絵本と出会う③図書館 等での出会い】 公共図書館で行う児童 サービスについて学ぶ。 事例を通して、地域の読 書推進活動での絵本を めぐる活動の意義や関 連事業の可能性について 考察する。	講義 質疑応答 ゲストスピーカー	公共図書館の児童サー ビスについておおむね 理解することができる。 地域の読書推進活動に おける絵本をめぐる活 動の展開についておお むね理解することがで きる。	(予習) 公共図書館の 児童向けサービスにつ いて調べておく。 (復習) 自分の住んで いる地域の読書推進活 動の取り組みをまとめ る。	90	主体性 傾聴力 規律性
11	【絵本と出会う④書店 での出会い】 書店における絵本の売 り場づくりの工夫につ いて学ぶ。絵本が完成 し、流通するまでの流 れについて学ぶ。	講義 質疑応答 ゲストスピーカー	書店における絵本の売 り場づくりの工夫及び 絵本の流通についてお おむね理解することが できる。	(予習) 地域の書店の 絵本コーナーについ て、工夫点等を調べて おく。 (復習) お話で伺った ことをまとめる。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力
12	子どもの言葉を豊かに する手袋シアターにつ いて学ぶ。	講義 制作 (企画・替え歌の 制作)	手袋シアターについ て、おおむね理解す ることができる。子ど もの言葉を豊かにする パネルシアターにつ いて、多少なりとも企 画することができる。	(予習) 手袋シアター について調べておく。 (復習) 企画したパネ ルシアターの内容を確 認する。	90	実行力 創造力 発信力 傾聴力
13	手袋シアターを制作す る	講義 制作 (手袋シアター)	手袋シアターを手袋と フェルトを使用して、 制作することができる。 る。	(予習) フェルトに下 絵を写しておく。 (復習) 手袋シアター を完成させる。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
14	制作した手袋シアター を子どもの前で実践す ることをイメージしな がら台本を制作し、練 習する	講義 制作 (手袋シアターの 台本) 実践練習	制作した手袋シアター の台本を制作すること ができる。	(予習) 手袋シアター を完成させておく。 (復習) 手袋シアター を台本に沿って練習を する。	90	主体性 発信力 傾聴力
15	子どもの言葉を豊かに する手袋シアターを実 践する	実践 グループワーク	子どもにとって見やす く、分かりやすい手袋 シアターを実践するこ とができる。	(予習) 手袋シアター を練習しておく。 (復習) 実践をとおし て得た気づきをまとめ ておく。	90	主体性 課題発 見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力